



第78回日本臨床眼科学会 イブニングセミナー-8 (ES8)

緑内障治療は長い旅路

～病態に応じた薬剤選択とアドヒアランス～

日時：2024年11月15日(金) 16:20～17:20

会場：第7会場（国立京都国際会館 1F Room D）

座長 相原 一 先生（東京大学）

人生100年時代と言われるようになり、目の健康寿命を延ばすことが注目されています。緑内障に関しても、その進行を軽減させることにより生涯視機能を維持したいものです。ご存じのように、緑内障は多くの病型があり、その診断的的確な治療法、そして長期に亘るアドヒアランスが重要です。今回のセミナーでは、緑内障の病態や治療法に焦点を当てて、ご講演をいただくことにしました。池田先生より、real world dataに基づく緑内障の病態と薬剤選択に関する知見を、また、三木先生より、点眼薬のアドヒアランスとそのスキルに関してご講演いただきます。「緑内障治療は長い旅路」のタイトルのように、患者さまとともに生涯長い旅路を歩めるよう、皆様と学びたいと思います。



講演Ⅰ 「緑内障の薬剤選択 ～何を見て考えて選択しているのか～」

池田 陽子 先生（御池眼科 池田クリニック）



講演Ⅱ 「点眼アドヒアランス・スキルについて」

三木 篤也 先生（愛知医科大学）



